

事業の名称： 紫草の栽培と活用の取組み

団 体 名	民谷地区振興協議会	事 業 費	260,000 円
代 表 者	景山 逸雄	補助金交付額	200,000 円

現状と課題

紫草は地区で2名の方が栽培しておられますが、栽培の難しさからビニールハウスでの栽培となっています。また、連作障害が出易いこともあり、圃場の確保も容易ではありません。栽培を始めるにあたっては、初期投資が必要であり、担い手の育成には至っていません。

事業の目的

路地栽培で収量が確保できれば初期投資が抑えられるので、地区の有志の方々にお願いして自宅の畑や庭先などで栽培しながらノウハウを蓄積します。路地栽培の目途がたてば、担い手として就農して頂くことが期待されます。

実 施 内 容

◇実施状況

拠点施設である民谷交流センター裏の畑にて露地栽培を行ないました。また、数名の方々にもプランター、又は畑にて栽培をして頂きました。

また、紫根を使ったワークショップでは紫草染め体験、紫根バーム作りなど開催し、好評でした。



◇成果と課題

プランターでの栽培は生育も良く順調に見られたが、根の成長が悪く収穫には至りませんでした。一方、畑での栽培は生育が遅くて全体的に丈が短く、4割近くが枯れてしまいました。残ったものの中には根本から新芽が出ているものもあり、そのまま残して翌年の成長を観察することにしました。根の成長が重要であり、プランター栽培は困難と判断しました。路地栽培は雑草対策でマルチを張っていますが、完全に抑えることは難しく日々の管理が欠かせません。また、異常気象の影響で高温になり、成長が妨げられたものとみられます。

ワークショップには地区内外からの参加があり、体験づくりを通じた繋がりづくりができる場となりました。今後も継続的に挑戦を続け、こうした場が地域の担い手づくりの土壌となるよう取り組んでいきます。

また、ワークショップは人数を限定して行っていますが、紫根の量の確保が可能になれば、多くの人に参加して頂きたいです。

